

緑園連合 News

2021年7月15日 vol.45

発行 緑園連合自治会
発行責任者 成田 俊人
編集責任者 貝沼 貞夫

◆◆ 会長のご挨拶 ◆◆

緑園連合自治会会長
成田 俊人

コロナ禍が続いていますが、皆さまはどのようにお過ごしでしょうか？

横浜市では高齢者へのワクチン接種が進んでおり、64才以下の市民への接種券配布も始まりましたが、集団免疫を獲得し感染が終息するまではまだまだ時間が掛かると言われています。

緑園連合自治会は、今年も、夏祭り、運動会の中止を決めました。敬老祝賀会も中止し、各自治会より記念品をお配りします。

そのような中で、最近、ご高齢の方が病気、怪我で入院された話を伺っています。感染予防のために、外出を控え、人との会話も減らしている影響ではないかと心配しています。

自治会では、工夫して、出来るだけ活動の機会を増やしたいと模索していますが、特にご高齢の皆さまには、ワクチンの接種が終わったら、感染予防対策と熱中症対策に気をつけて、散歩やラジオ体操に屋外へ出られることをお勧めします。

◆◆ 令和3年度 緑園連合自治会総会が開催されました ◆◆

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度同様、書面での表決とし、令和3年5月13日までに代議員の皆様に書面表決書を提出いただきました。その結果、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

<詳細>代議員数：83人 投票総数：81人、投票率：97.6%

議案

- 第1号議案：令和2年度 事業報告
- 第2号議案：令和2年度 収支決算書及び監査報告
- 第3号議案：役員承認
- 第4号議案：令和3年度 事業計画
- 第5号議案：予算

<令和3年度 緑園連合自治会行事予定について>

新型コロナウイルス感染防止対策のために、昨年度同様に、今年度も大変残念ですが、やむを得ず次のとおり多くの行事を中止することになりました。

行事名	月日	曜日	主催	場所	備考
連合自治会総会	5月15日	土	連合自治会	地域交流センター	書面議決
①緑園夏祭り大会	8月7日	土	連合自治会	西小校庭	中止
②緑園敬老祝賀会	9月20日	祝・月	連合自治会/社協	地域交流センター	※1
③緑園連合運動会	10月3日	日	連合自治会	西小校庭	中止
④福祉ふれあい祭り	10月24日	日	社協/連合自治会	西小校庭・体育館	中止
⑤緑園地区一斉清掃	12月12日	日	連合自治会/RCA	緑園全域	※2
⑥年末特別パトロール	12月14日	火	連合自治会	緑園全域	
⑦新年祝賀会	1月8日	土	連合自治会	地域交流センター	
⑧新春マラソン大会	2月5日	土	連合自治会/RCA	東小・同周辺	

※1:9月18日(土)に記念品贈呈のみ実施。

※2:概ね3~4か月前に開催の可否を決定。

◆◆ 連合自治会総会詳細 ◆◆

令和3年度役員

区分	役職	氏名	所属団体(役職)	担当活動
執行役員	会長	成田 俊人	七丁目自治会 会長	連合自治会運営全般
	副会長	吉本 武雄	六丁目自治会 副会長	
会計監事	会計監事	小松 貴聡	一丁目自治会 会長	会計監査
	会計監事	加藤 正実	四丁目西自治会 副会長	
会計	会計	福本 太郎	三丁目自治会 副会長	会計事務・会館運営委員
	会計	岩切 正哉	四丁目東自治会 会長	
総務部	総務部長(全般)	貝沼 貞夫	二丁目自治会 会長	事務全般、家庭防災員代表
	総務副部長(会議)	吉田 雅彦	三丁目自治会	年次総会
	総務副部長(広報)	田谷 善宏	三丁目自治会	広報誌発行
		飯塚 智明	六丁目自治会	広報誌発行
		鈴木 英範	一丁目自治会	広報誌発行
		森田 伸一	三丁目自治会	広報誌発行
	協力員(行事)	山中 一彦	四丁目東自治会	行事全般
防犯・防災部	部長	松山 好	五丁目自治会 会長	防犯・防災全般
		塩谷 敏明	緑園地区防犯パトロール協議会代表	防犯パトロール(青パト)
		塩谷 敏明	防犯指導員 代表	
		石井 義昭	泉交通安全協会緑園支部 代表	行事毎の交通整理
福祉・厚生部	部長	菅野 英夫	緑園地区社会福祉協議会 代表	ふれあい祭り
		堀口 澄枝	緑園地区民生委員児童委員協議会 代表	敬老祝賀会
		岡本けい子	緑園地区保健活動推進員 代表	
		後藤登美雄	緑園地区シニアクラブ連合会 代表	
生活・環境部	部長	高田 明	緑園地区環境事業推進委員会 代表	緑園一斉清掃
		長谷川幹夫	緑園地区活性化委員会 代表	
		鈴木 清文	緑園バス運行推進協議会 副代表	
社会・教育部	部長	井上 喜芳	緑園地区スポーツ推進委員連絡協議会 代表	緑園連合運動会
		長南 照雄	緑園地区青少年指導員連絡協議会	夏祭り大会
		松井 広志	緑園青少年居場所作り協議会 副代表	
		田村 靖志	緑園スポーツ・文化クラブ 代表	
		石田 和雄	緑園中学校(仮)設置を考える会 代表	
施設管理部	部長	小松 貴聡	一丁目自治会 会長	会館運営全般

令和3年度予算

費目	(単位:円)			備考(単位:千円)
	R2年度予算	R2年度実績	R3年度予算	
収入の部				
1 前年度繰越金①	3,300,149	3,300,149	4,415,789	
2 会費②	4,185,000	4,185,000	4,170,600	別表1 会員数4,634×900円
夏祭り、運動会負担金②	800,000	0	800,000	夏祭り:会員数比例、運動会:等分
3 補助金	960,500	960,500	957,780	地域活動推進費
各種補助金	384,000	284,000	284,000	会員数4,634で算出
各種活動補助金	94,000	94,000	94,000	別表2 防犯、ごみ減
小計③	1,438,500	1,338,500	1,335,780	日赤・共同募金・泉区社協
4 その他④	2,400,000	858,668	1,400,000	利息、祝儀、敬老会負担金、新年祝賀会会費
収入計	12,123,649	9,682,317	12,122,169	①+②+③+④
支出の部				
会議費	60,000	0	0	
1 事務費	360,000	573,009	600,000	印刷機リース代、振込手数料
自治会館運営費	500,000	500,000	500,000	
その他	0	0	0	
小計①	920,000	1,073,009	1,100,000	
環境事業費	80,000	80,000	80,000	環境事業推進員80
2 安全安心事業費	180,000	100,000	50,000	交通安全協会50
社会教育事業費	945,000	915,000	485,000	社0、ス100、青60、居60、老100、活性165、バス0
3 業	1,590,000	0	1,620,000	夏祭り1200、マラソン大会50
レクリエーション費				運動会370
福利厚生事業費	1,140,000	1,178,495	1,020,000	敬老会970
文化事業費	0	0	0	保健0、民生・児童50
対外分担費	505,000	499,850	505,000	別表4
小計②	4,440,000	2,773,345	3,760,000	
助成金対象経費	5,360,000	3,846,354	4,860,000	①+②
補 緑うるおい活動	30,000	0	30,000	年末一斉清掃(RCA)
3 助 安全安心活動	290,000	237,143	200,000	防犯パトロール200、防犯活動0
補助金対象事業	244,000	144,000	144,000	ゴミ減量化補助144
業 小計③	564,000	381,143	374,000	
会館運営委積立金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	会館運営委員会 修繕積立金
4 他	340,000	39,031	340,000	渉外費
親戚会費	10,000	0	10,000	
の 新年祝賀会	450,000	0	450,000	
慶弔費	0	0	0	渉外費から支出
学校寄付事業	0	0	2,000,000	緑園義務教育学校・記念植樹費、他
予備費	200,000	0	200,000	
小計④	3,000,000	1,039,031	4,000,000	
5 支出計	8,924,000	5,266,528	9,234,000	①+②+③+④
6 次年度繰越金⑤	3,199,649	4,415,789	2,888,169	
支出合計	12,123,649	9,682,317	12,122,169	①+②+③+④+⑤

◆◆ 緑園連合自治会町内会役員等の永年在職者表彰 ◆◆

4月24日(土)に開催されました緑園連合自治会第1回定例会議に先立ち、緑園連合自治会町内会役員等の永年在職者表彰が行われました。例年、5月の総会の会場で授賞式が行われていますが、今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、総会が書面での表決となったため、このような企画となりました。会場の緑園地域交流センターには、泉区区長深川敦子氏、地域振興課長塗師浩美氏はじめ担当職員も来場。

深川区長より、永年自治会活動に尽力してこられた方々一人ひとりに表彰状が授与され、ご挨拶をいただきました。

☆ 受賞者 ☆ (敬称略)

- 1 杉山 昌樹(緑園連合自治会)
- 2 阪口 知弘(緑園二丁目自治会)
- 3 堀口 澄枝(緑園二丁目自治会)
- 4 榊原 秋彦(緑園七丁目自治会)

以上 4人



表彰をうける受賞者



深川区長ご挨拶

◆◆ 緑園義務教育学校特集 ◆◆ —令和4年度開校に向けて 連載「その3」—

緑園義務教育学校は、来年（令和4年）4月に開校を予定しており、学校整備工事や教育課程の編成、標準服、校章デザイン、校歌、施設レイアウト等の開校準備が進められています。本号では、連載「その3」として、開校準備委員会や整備工事の進捗状況についてお知らせします。また、横浜市教育委員会事務局より提供いただいた新校舎や屋内プールの写真を、別刷り版で紹介致します。

緑園義務教育学校開校準備委員会について

6月10日（水）、緑園東小学校にて第4回緑園義務教育学校開校準備委員会が開催されました。まず、事務局より、開校準備の進捗状況について説明がありました。

- | | |
|---------------|-------------|
| ア) 施設整備について | オ) PTAについて |
| イ) 教育課程について | カ) 部活動について |
| ウ) 標準服等について | キ) 学校開放について |
| エ) 校章デザインについて | |



会議の様子

また、開校記念式典について方針の説明がありました。

緑園義務教育学校整備工事の進捗状況について

緑園義務教育学校整備工事の進捗状況について、緑園東小学校副校長丹野一郎氏より寄稿いただきましたので、紹介させていただきます。

<新校舎について>

令和3年3月に新校舎が完成し、4月から新校舎を使用しての学校生活が開始されました。緑園東小学校の子どもたちは、新しい教室や校庭（サブグラウンド）に心躍っていました。来年度入ってくる緑園西小学校や岡津中学校の皆さんのためにも大切に使用しています。また、7月には、新しく建設され、すでに完成している屋内プールでの水泳学習も行われています。

<給食室について>

7月16日（金）をもって令和3年度の給食は終了し、令和4年度の緑園義務教育学校の開校時からの給食開始に向けて、8月より、給食室の改修工事が開始されます。そのため、夏休みが終了後、9月1日からはお弁当を食べることになります。

<災害用ハマッコトイレ（災害時下水直結式仮設トイレ）について>

設置工事はすでに終了しています。災害用ハマッコトイレは、地震の影響で水洗トイレが使用不能になった場合でも、地域防災拠点などにおいて衛生的に使用できる仮設トイレです。サブグラウンドの地下に、仮設トイレ用下水道管が通っています。

<アリーナ棟、武道場、地域交流室等の新設や東小学校の現校舎の改装工事、メイングラウンドの整備について>

工事は 本年2月から始めていて、来年3月終了を予定しています。

<再引っ越しと開校後の校舎の使用について>

緑園東小学校の子どもたちは、来年3月末に再度引っ越しして、4月以降は1～5年生は旧校舎、6～9年生は新校舎での授業が始まります。

緑園義務教育学校関連のさまざまな情報については、緑園連合自治会発行の資料や横浜市教育委員会のホームページ等もご覧ください。

◆◆ 学校統廃合（緑園西小、緑園東小）に伴う 地域防災拠点の取り扱い方針について ◆◆

4月24日（土）に開催されました緑園連合自治会第1回定例会議に先立ち、学校統廃合（緑園西小学校、緑園東小学校）に伴う地域防災拠点の取り扱い方針について、泉区より説明がありました。

令和4年3月31日に緑園西小学校・緑園東小学校が閉校となり、同年4月1日には緑園義務教育学校が開校します。このため当該2小学校の地域防災拠点の指定が解除されるとともに、新たに当該地域を対象とした地域防災拠点の指定、地区割り当てを行うこととなります。その地区割り当てについての今後の方針が示されました。

<今後の方針>

「学校統廃合に伴う地域防災拠点の取り扱い」（横浜市総務局長通知：抜粋）によると、3つの区分が示されています。今回のケースでは、（1）の規定を適用するとの内容です。すなわち、緑園義務教育学校に、既存の西小及び東小の2地区を対象とした、新たな地域防災拠点を指定することになります。



会場の様子

「学校統廃合に伴う地域防災拠点の取り扱い」（横浜市総務局長通知：抜粋）

（1）中学校の指定

学校の統廃合により廃校となる小・中学校については、原則として、地域防災拠点の指定を解除し、代替として近接する「地域防災拠点に指定されていない中学校」を指定します。

以上の内容ですが、緑園地区としては、この方針の実施に伴う課題について整理し、対策を練る必要があります。コロナ禍において、拠点の収容人数に限りもあり、一方で、「在宅避難」へのニーズも高まっており、各家庭での日頃の備えもますます重要になってきています。

◆◆ 神奈川県立横浜緑園高等学校訪問記 ◆◆

新型コロナウイルス蔓延防止措置がとられる中、梅雨本番特有の雨が降りしきる7月1日（木）、貝沼と長谷川が取材にお邪魔致しました。同校は、平成29年度より、それまでの横浜緑園総合高校から、単位制普通科からなる横浜緑園高校に変わり、すでに、この3月、4期生が卒業しています。そして、4月6日、第5回入学式が挙行され、238人の新入生（7期生）が入学致しました。



取材当日、緑の木々に囲まれた校舎に入り、校長室に案内されると、川又弘明 横浜緑園高校正門校長先生と原真人副校長先生が出迎えてくださいました。教頭の河邊由美子先生が加わり、隣の応接室で記念撮影。同室の壁には、学生の書道作品や元神奈川県知事長洲一二氏の書（「少年易老学難成一一一」）が飾られていました。

横浜緑園高校川又校長の専門教科は理科（物理）で、昨年4月に港北区にある新羽高校から新任校長として赴任してこられ、本年度2年目を迎えられました。



中) 川又校長、左) 原副校長、右) 河邊教頭

同校の印象を尋ねると、「緑豊かで、鳥のさえずりが聞こえる環境にめぐまれた学校」とのことでした。着任した4月、新型コロナウイルス禍でいきなり休校。6月再開後も、感染防止のための自宅での検温や、分散登校、教育設備の消毒、3密防止のための授業環境整備等、環境が一変したとおっしゃっていました。コロナ禍の中でも、授業や各部活動など活発に行われています。

さまざまな部活動の中で、毎年大会で優秀な成績をおさめている吹奏楽部は今月開催の市の大会を皮切りに、県大会、南関東大会等への進出が期待されています。

横浜緑園高校の益々の発展を祈りつつ、帰路につきました。

編集後記

Vol.45 は連合自治会総会および学校にかかわる記事について特集しました。次号は10月15日発行予定です。梅雨も終わり、真夏の到来です。お体に気を付けてお過ごしください。

【編集委員】貝沼貞夫、長谷川幹夫、田谷善宏、飯塚智明、森田伸一、鈴木英範